



# 障害のある若者の雇用に関する 日米企業リーダー育成研修

## ウェビナーシリーズ

職場における教育:どのようにして経験に基づく学習が障害のある学生達の雇用への移行準備の助けとなるか?

### ウェビナー#3

(米国東部標準時間)2021年9月2日午後8時～午後9時30分  
(日本時間)2021年9月3日午前9時～午前10時30分

本パネルでは、インターンシップや経験に基づく学習プログラムが、実践的で専門的な要素に重点を置き、障害のある大学生を雇用に向けて効果的に準備するには何が必要であるかを考察する。パネリストは、障害のある学生が大学入学に際して直面する障壁やインターンシップの概念における(日米間の)文化的な違いについて話し合う。パネリストは、経験に基づく学習プログラムが多様な学生にとってバリアフリーな環境であることを確実にするために、大学アドミニストレーターや企業が果たすべき役割について討論する。

### 事前登録制・参加費無料

情報保障:日英同時通訳、日英文字通訳、日本手話、アメリカ手話

#### お問い合わせ先:

Heike Boeltzig-Brown, PhD  
プロジェクト・ディレクター  
Heike.Boeltzig@umb.edu

楠本沙織  
プロジェクト・コーディネータ  
Saori.Kusumoto@umb.edu

事前登録: [https://communityinclusion.zoom.us/webinar/register/WN\\_iXYRJJIYQ-qltdtBX6iXoA](https://communityinclusion.zoom.us/webinar/register/WN_iXYRJJIYQ-qltdtBX6iXoA)

The project is funded by the U.S. Embassy Tokyo.



Institute for Community Inclusion at UMass Boston



## 司会

**EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社**  
**アソシエート・パートナー**  
**ナンシー・ナガオ**

リーダーシップ、ビジネス運営、人事に37年以上に渡って従事し、2004年には、EY アメリカで障害者の雇用・育成プログラムを立ち上げる。日本では、EYのクライアント企業がインクルーシブな職場環境を整備する際の支援として、Diverse Abilities @ Work を開発。また、在日米国商工会議所 (ACCJ) では、理事として、多様性やインクルージョンなどについて提言を行っている。ブルームバーグ・ビジネスウィークや、在日米国商工会議所の刊行物で障害者雇用などについて寄稿。また、国際労働機関(ILO)などが主催するイベントでも、障害者雇用の利点について、プレゼンテーションを行っている。



## パネリスト

**日本アイ・ビー・エム株式会社**  
**東京基礎研究所アクセシビリティ・リサーチ**  
**プログラム・マネージャー**  
**及川 政志**

大手コンサルティング・ファーム、ITハードウェア・メーカーを経て、現在IBMの東京基礎研究所で、最先端のテクノロジーを活用したビジネス開発に従事。豊富な海外経験とアクセシビリティやダイバーシティに関する知見を活用し、障がい者雇用とエネーブルメントのベスト・プラクティス作りに雇用モデルとテクノロジーの両面からアプローチしている。また、及川氏はIBMの障害者向けインターシップである「アクセシブル」をリードし、一般社団法人企業アクセシビリティ・コンソーシアム(ACE)においてIBM Japanの代表を務める。ACEは約30社の大手企業が集まり、「障がい者雇用の新しいモデル確立」をミッションとし活動を行う社団法人である。



**ノースイースタン大学**  
**ラーニング戦略・学生サクセス室、**  
**シニアディレクター**  
**メリー・バロウズ**

障害を持つ学生のための授業、課外活動、その他サービスへのアクセスやインクルージョン保障、障害リソースセンターの監督、学習障害プログラム、学生体育支援サービスを担当。高等教育における障害と学習に関して、新入生オリエンテーションや障害を持つ学生の大学移行など、様々な内容のプレゼンテーションを行ってきた。ノースイースタン大学がグローバル戦略に舵を切るなか、米国内だけでなく、国外キャンパスすべての障害リソースセンターを統括している。



**ノースイースタン大学  
障害リソースセンター  
、ディレクター  
カイル・ドロス**

障害リソースセンターのディレクターとして、大学のアクセシビリティを確保し、障害のある全ての学生にとって公平でインクルーシブな学業・生活環境を提供する立場にある。センターではカイルの指導のもと、高等教育における学び、成長、発達といった複雑な要素を加味してサービス提供を行っている。この学生の発達を軸にすえたアプローチで、学生の定着率と卒業率の向上を図っている。また、障害リソースセンターの予算、人事、テクノロジーを管理し、教職員やその他の関係者に対して、障害を持つ学生への支援や配慮についてアドバイスを行っている。



**株式会社堀場製作所  
グローバル人事部  
採用チーム リーダー  
島津 悠貴**

大学卒業後、国内大手人材サービス企業の法人営業として様々な企業の採用支援に従事した後、2016年に堀場製作所に入社。採用担当として新卒・キャリア採用を経験後、現在は国内HORIBAグループ新卒採用の統括、およびインターシッププログラムを含めた障がい者採用推進を主な担当としている。また、堀場製作所が所属する一般社団法人 企業アクセシビリティ・コンソーシアム (ACE:Accessibility Consortium of Enterprises) においても、障がいのある学生のキャリア教育を支援するためのセミナーやインターンシップ、ネットワーキングの企画等を行っている。

